



けんこう 健康だより 3月号 がっこう

令和4年2月28日発行
かんのん町保育園

2月の感染症情報

感染性胃腸炎 1名

3月になるとだんだん春めいてきます。1年間、大きなけがや病気もなく過ごすことができましたか？規則正しい生活は送れましたか？お子さんと一緒にこの1年の健康面を振り返ると共に、4月に向けて虫歯など治療が必要なものは早めに済ませましょう。

花粉症について

子どもも成人と同様にくしゃみ、鼻づまり、鼻水、目のかゆみといった症状が花粉の飛散する時期に出ます。

- 鼻づまりがひどくて寝付けない。
- 水っぽい鼻水が止まらない。
- 目や鼻を気にしてよくこする。

こうした様子の方は、耳鼻科や小児科を受診しましょう。

Q: 花粉症の原因になる植物は何種類くらいある？

A: 50種類！

多くはスギやヒノキのしわざです。他にも花粉症を引き起こす植物はいろいろあり、日本では約50種類と言われます。植物によって花粉の飛び時期が違います。中には、春から秋ごろまでの長い期間飛び回る植物も！場所にもよりますが、ほぼ1年中花粉が飛んでいます。

《自転車の転倒事故防止について》

ヘルメットは必ず、子どもを自転車に乗せる前に装着しましょう。

前の座席に子どもを乗せたまま、後ろの座席の子どもなどの乗せ下ろしをすることは大変危険です。

→子どもを前の座席に乗せた状態はとても不安定です。

前の座席での怪我は、後ろの座席の約6倍になります。

車道と歩道の段差は要注意です。

→駐車場などへの車の出入り口の段差の乗り越えは避けましょう。やむを得ない場合は速度を落とし、できるだけ大きな角度をつけて乗り越える事が重要です。

子どもを1人乗せる場合

→1人乗せの場合は、「後ろ乗せタイプ」を選ぶことでハンドルのふらつきが小さくなるため望ましいです。

子どもを2人乗せる場合

→2人乗せの場合は、「前乗せタイプ」を選び、前後に乗せる事が望ましいです。

→前乗せタイプの自転車の多くは前かががついていないため、荷物の乗せ方にも注意が必要です。

ブレーキの点検、保守

→幼児乗せ自転車では、前後両方のブレーキが重要です。総重量が大きく、停止する際には、前後両方のブレーキが確実に効かないと目標位置に止まれず、前方の物に衝突する恐れがあります。

※わずかな時間でも、お子さんに乗せたまま自転車から離れる事のないようにしましょう。

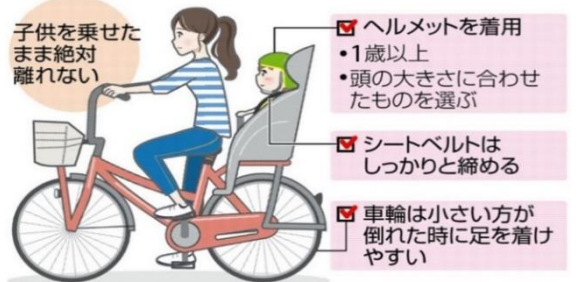
～今年度の事故報告～

今年度2月までの受診の必要があった事故は、18件でした。

事故内容としては、バランスを崩して転倒した際に、頭部や歯、歯茎を打撲する怪我がありました。また、友達との関わりの中でのひっかけ傷や、園内での肘内障がありました。受診したケースの事故報告は川崎市にもしています。また、事故検証と改善策を導き出し、再発防止に努めています。

転倒原因となっていたことについては、日々の保育の中で全身を動かす遊びを意識的に取り入れ、子ども達の体作りに取り組みました。子ども同士での関わりの中でも怪我に繋がらないよう、関わり方を子ども達と考えたり、保育士の見守り方も適切に出来るようこれからも取り組んでいきます。

自転車に子供を乗せる時のポイント



一般的な幼児用座席付き自転車

